

久木野中学生 職場体験

6月4日から8日にかけて、久木野中学校（坂梨光一校長）2年生18人が、久木野地区の飲食店や、社会福祉協議会など10カ所で職場体験を行いました。この体験は、「働く」ことを通じて社会の「マナー」や「厳しさ」、「喜び」「責任」について考えることを目的に行われたもの。生徒たちは何を学び、感じたのでしょうか。久木野中学生の取り組みを取材しました。

この記事は、久木野中学生の職場体験の1つとして制作してもらったものです。

南阿蘇村体験交流センター四季の森

温泉宿泊施設の「南阿蘇村体験交流センター四季の森」では、今村天斗さんと松川網汰さんの2人が体験。接客や室内・浴場の掃除、配膳、施設周辺の草取り作業を行いました。



南阿蘇村社会福祉協議会

「南阿蘇村社会福祉協議会」では、藤本京子さんがデイサービスや介護などを体験。お年寄りの方が解かれた脳トレニングの丸付けや、会話などの交流を行いました。



くらふとはうす大滝

パッチワークや着物のリフォーム教室、作品の展示、販売などをされている「くらふとはうす大滝」では、勝呂龍平さんと藤岡杏華さんの2人が、アイロンがけや裁縫を体験。ボタンの仕分けやオリジナルの作品づくりなどを行いました。



- ①インタビュー初挑戦（役場）
- ②防災無線のしくみ説明（役場）
- ③一つひとつ丁寧に牛脂の袋詰め（あか牛の館）
- ④手際よく「そばつゆ」の袋詰め（そば道場）

お客様が帰られる際、「中学生は？」と声をかけられる方もいらっしやいました。お見送りなどもして、大変喜ばれました。



四季の森支配人
市原和昭さん

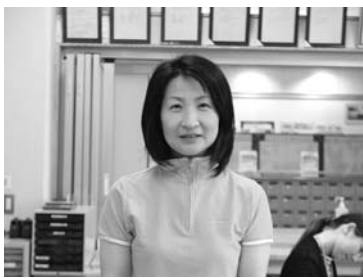
— Interview —

準備が大変で、仕事に対しての責任や、プレッシャーを感じました。(今村さん)
▼ たくさんシーツ換えがあり、難しかったです。皿を割ってはいけないという責任を感じました。
(松川さん)



今村 大斗さん (右)
松川 利斗さん (左)

藤本さんは、何度かワークショップに参加されていることもあり、お年寄りの方との接し方が上手。皆さん、孫が来たこと喜ばれています。



社会福祉協議会 地域福祉係長
工藤富美代さん

— Interview —

会話を通して、相手の気持ちを知ることが頑張っている。初めは、緊張したけど、職員の方が優しく、お年寄りの方の面白い話や、人生の話で緊張がほぐれました。この仕事を将来の夢に生かしたいです。
(藤岡さん)



藤本 京子さん

2人はとてもたくましく、仕事の飲み込みが早く、手際が良いです。私の気がつかなかったレースの使い方を、逆に教えてもらいました。



くらふとはうす大滝
大瀧 栄子さん

— Interview —

細かい作業が大変です。作品がきれいにできるとおもしろいです。(藤岡さん)
▼ 「もの作り」がしたかったので決めました。たくさん針が刺さったけど、作品ができあがるにつれて楽しくなりました。
(勝呂さん)



藤岡 杏華さん (右)
勝呂 龍平さん (左)



①夏に向けて室内装飾作り (久木野保育所) ②③慎重な手つきでクッキー作り、ケーキの箱詰め (お菓子の森くぎの) ④ちょっと緊張気味に接客 (山の洋食屋フレール) ⑤皮むきはお任せ (あそ望の郷)